

### ディベートの大切さ

私は岩倉市の小中学校に行き、生徒たちが英語で話せるようになるための支援をしています。いつも学校で生徒たちは日本語だけを使っているため、英語で実際に外国人と話す機会はあまりないのが現実です。

私は生徒たちと一緒に色々なテーマで話して、実際に外国人と英語で話す雰囲気を作っています。それだけでなく、生徒たちと話し合いをしながらチームを分け、英語でディベートをするようにしています。ディベートというものは、ただ話すだけではなく自分なりの意見をみんなにしっかり述べることと、他人の意見もちちゃんと聞くことなので、生徒たちは自分だけではなく相手のことも真剣に考えるようになります。なんでも2つの面があって人間は1つのことに対して違う面で見ているからこそ主張したり喧嘩したりしていると思います。自分が正しく思っていることを他人に丁寧に伝えるためにディベートは必要です。ディベートを通して、生徒たちは将来的に自分の意見を相手にきちんと述べて分かってもらう力と、相手の意見もちちゃんと聞く力も得ることができると信じています。

例えば私は生徒たちに「大都市に住むのがいいか、それとも小さい村に住むのがいいか」というテーマを出します。生徒たちは自分で考えて、自分の好きな方のチームに入り、賛成と反対の意見を私に教えてくれます。もちろんディベートを英語でするので英語の能力も上がるし、1つのことを2つの面で見ると相手の意見もしっかり聞いた上で、自分の意見を次々に述べて自分の視野も大きく広げることができると思います。また、自分の意見だけを考えて、自信をもって話すのではなく、相手の意見も大事にすることでチームワークも上手にできるようになるし、将来的に役立つと思います。しかし、ディベートのコンテストの場合、相手の意見より強く主張することが大事です。例えば1人の子が「小さい町のほうが大都市より綺麗で静かなので村に住みたいです」と言ったら、その意見に反論するための理由を考えてディベートすればいいです。小さい村のほうがいいと言われたら「大都市には、小さい村にない店やデパートがたくさんあるから住みやすいです」などの返答をするようになると考える力をつけることができます。

最後に、私たちは、すでに知っていることを正しいと信じて思い込むことより、誰かとディベートをして相手の意見を聞き、新しい発見を見つけるべきだと思います。自分の見ている面だけではなく相手の考え方をしてみると自分の考え方は変わってくるかもしれないし、新しい知識をたくさん身に付けることができます。皆さんぜひディベートをしてみてください。



岩倉市国際交流員  
トブドルジ・エンフナラン (エイミー)



▲授業は全て英語で行われています



▲ディベートではいつも議論が白熱します